梵字流

奇驗之利劍

彩画
永木堂

A 605
1
48-7583

ほのぼのとあけゆくかすみ
ふる雨に
あるかなきかの山ぶきの
花

初編上の巻
蓬屋主人 合作
紅木堂 摂

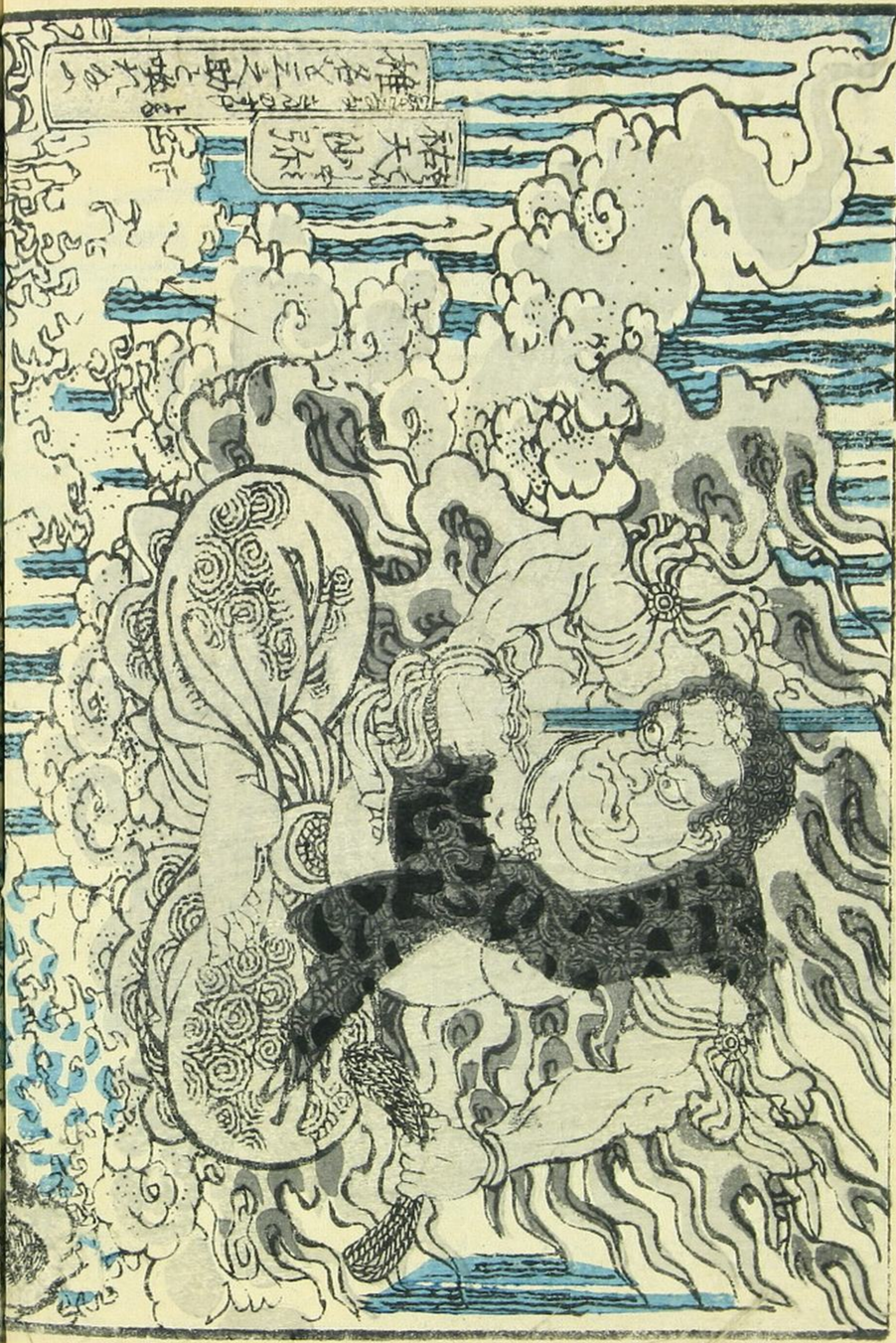
枯天櫻

唯身の浄土已心の弥陀心の外に別法なければ。
一切経も嘘八百と破て棄し見識。姑く置く
今茲に枯天聖の一期の奇談。果敢なき菓子に編む義
書は更に用ひず田舎ものの洗ひ
坊ず。燈明銭の集物。耳から聞て耳から抜る。根
言葉種とし。所謂聞取法問も又た善
巧方便と見るべき。僥倖ならんか。

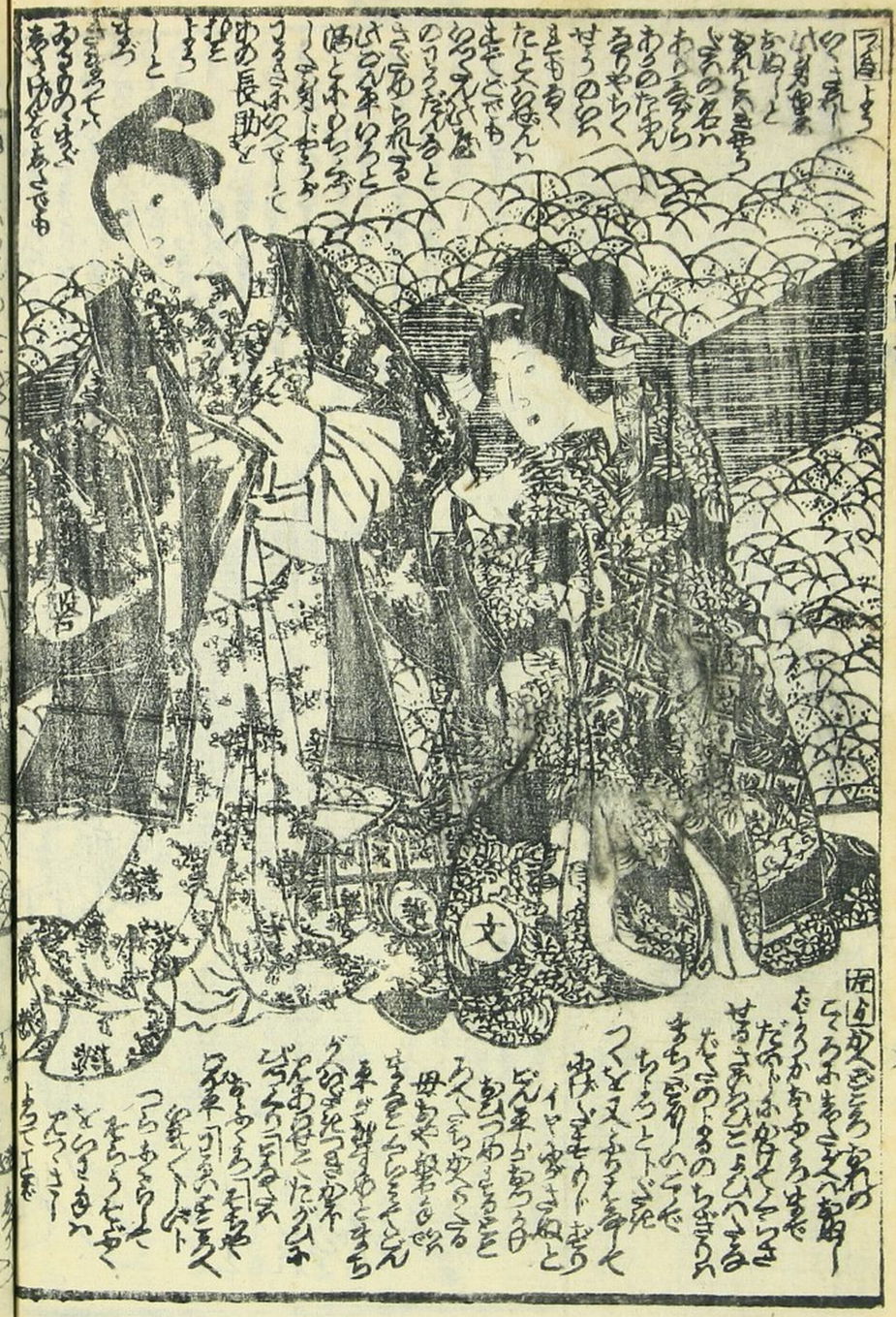
明治申春

爲永春水誌

後室で
盤手
長助が
總角結
の妻
文字摺
新妻
権平



武隈
二木之助
重茂
武隈
家の
侍婦
初霜
新妻
長助
則親



初
長助

新刻目録

優國文庫　初編　仮名垣魯文作　歌川芳虎画
梵字滝奇験利劍　初篇　鳥亦春水合作　山く亭有人追出板　錦朝楼芳虎画
假名讀太閤記　初編　山く亭有人作　追出板　錦朝楼芳虎画

地本草紙問屋　馬喰町四丁目　紅木堂木屋宗次郎

成田御利生記

初編下

春水人有

芳洲画

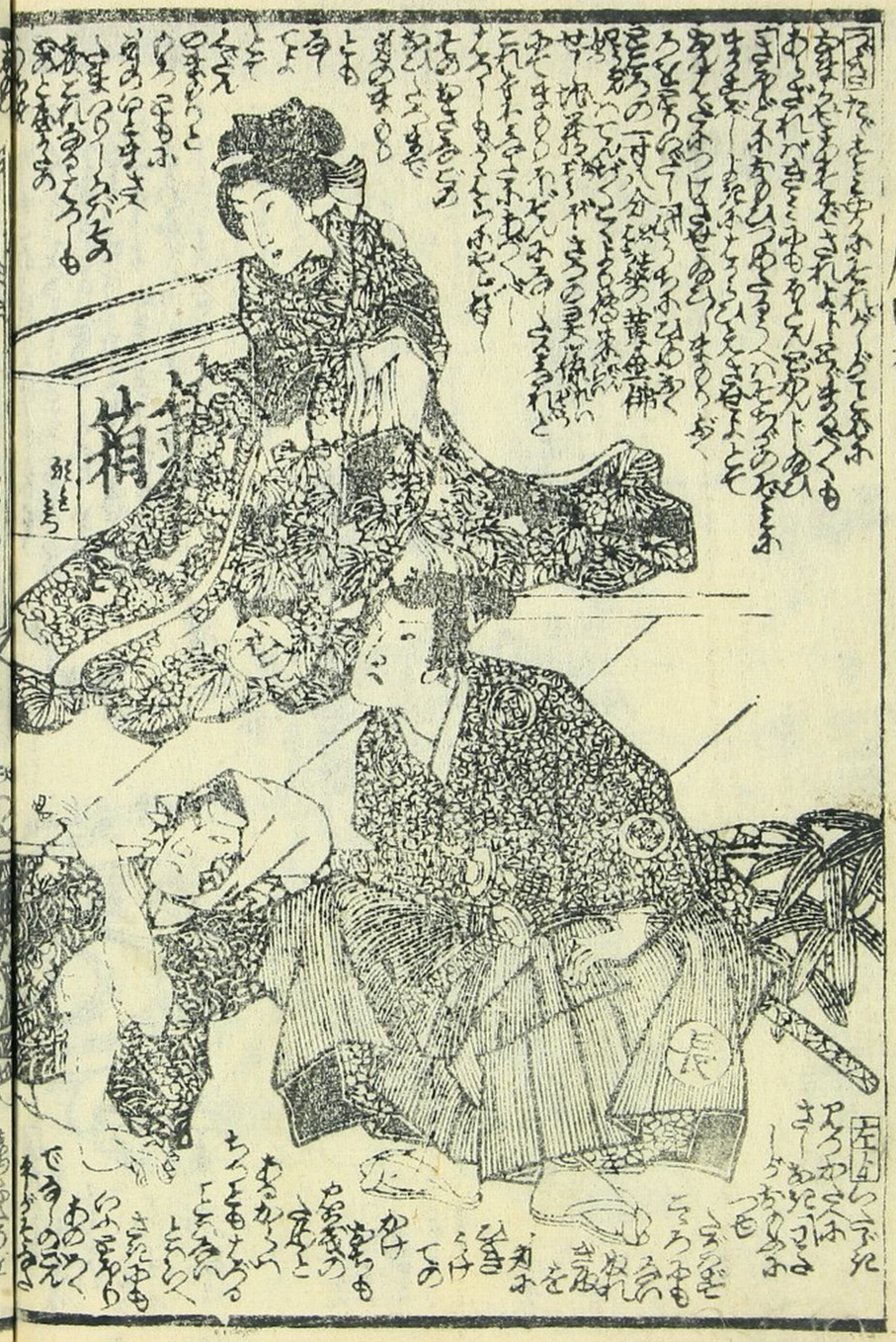
利劍

林九字二の儘奇驗利劔

春水合作

有人初編下の巻

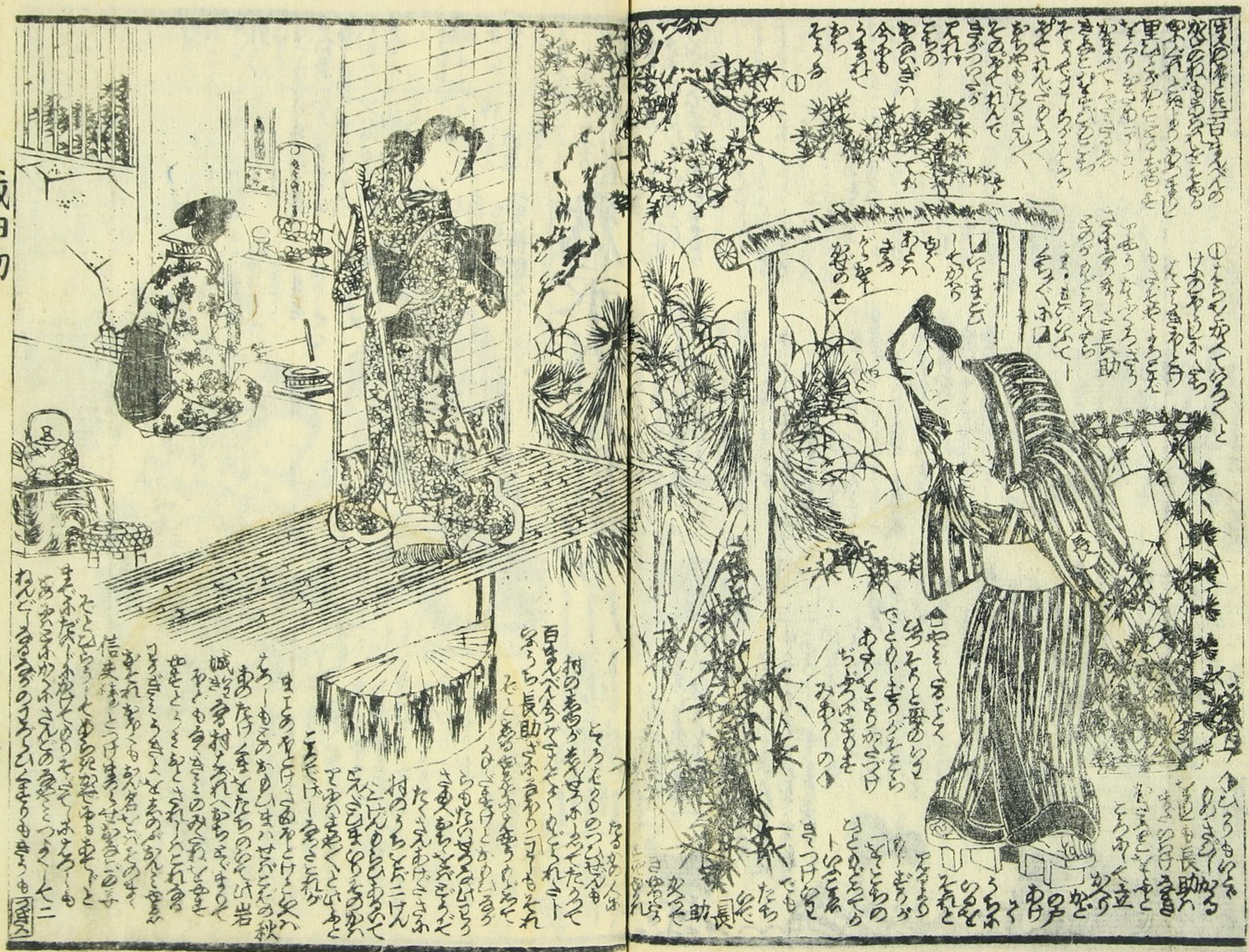
豫州樹芽東画


箱
長

箱
箱

女房
みてうを

初
推
後



010190518847

爲永春水作　歌川國郷画

朝鮮牛肉丸　百粉
外一名と捕ひ丸ん
世のとてのくる迷素
ゑ丸がきよ夢くの
人ゝ不用ひてり
十分さゝせんぐり
利及深崎氏製

紅木堂迎刻日録

佐野渡雪八橋　九編　爲永春水作
十編　柳堂遊人画

昔語室辟太郎　九編　爲永春水作
十編　書肆貞画

お孫そげぬ水茶　全三冊

うら長町の丁目
木瓜家